

2025/8/3 魔の山？急登・岩・ロープ、そしてアブ、定山溪天狗岳

L:O川、S-L:OS内、SS山、YE樫、U田、OO田、6名 天候:晴れ、風穏やか、気温:25-28℃位、とても蒸し暑い
6:00 伊達道駅出発→8:15天狗小屋出発→8:45 林道終点登山口→9:35 第一の岩場→10:10 急登開始
→途中3か所ほどロープ有→11:30 難所ルンゼ→12:00 山頂着、C1100昼食→12:37 下山開始
→14:57 登山口→15:30 天狗小屋
行動時間:7時間15分、登り3時間45分、下り 2時間53分 距離:9.4Km、標高差:932m

記録を塗り替える猛暑が続く今年の夏、当山岳会メンバーは元気に山行を重ねます。この日も道内各所34℃、札幌も31℃、湿度も高くムシムシ、全く登山向きではない暑さですが果敢に定山溪天狗岳に挑みました。



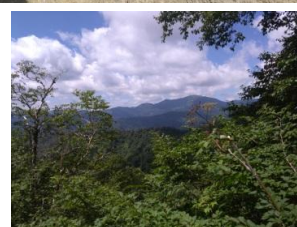
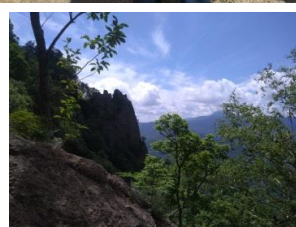
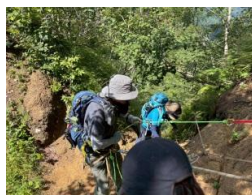
白井川を渡ると駐車場、先行車3台ほど。天狗小屋はバス停サイズ。その先林道を2.1Km歩いてようやく登山口、30分で通過しすでに汗だく。



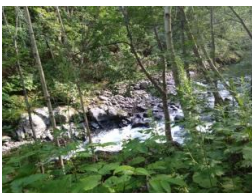
熊ノ沢渡渉を繰り返して奥へ奥へ進む。ロープ急登が次々に現れて気が抜けない。標高700mからは激急登、核心のルンゼは皆ススイと。1名苦戦。何をしても暑い、汗が目にも染みる。水分塩分補給してもすぐに大汗、身体から逃げていく。アブに付きまとわれさらに暑さ倍増、急登連続に意識モウロウ。



木々の間から見た山頂、振り返るとⅡ峰の断崖、ほぼ垂直



下りは慎重に。登りで滑って苦戦したOO田をO川Lがロープで確保



三つの岩山が連なる特徴的な山容の定天、聞きしに勝る厳しい山でしたが山頂に立った感慨もひとしおでした。無意根や余市岳も良く見えました。急登を登ったら帰りも当然急坂を降りねば(当たり前)、慎重に。足膝にくる～、またも大汗。汗と岩と坂とアブに悩まされましたが、忘れられない思い出を残した1日でした。ようやく下山してまたも林道2km、ああしんどい。白井川を流れる水の白さに一瞬の涼を覚えて「夏はやっぱり沢だべさ」とつぶやいたお方がいたとかいないとか。O川L、メンバーの皆様に感謝感謝。 OO田記・写真提供U田氏